

2025年度 全国学力・学習状況調査の結果概要と改善の方向

札幌市立北陽中学校

【国語】

本校の概要	今回の調査における課題	改善の方向
<p>【区分及び領域】</p> <ul style="list-style-type: none">△ 「言葉の特徴や使い方」<ul style="list-style-type: none">・全国平均を上回っている。△ 「話すこと・聞くこと」<ul style="list-style-type: none">・全国平均を上回っている。△ 「書くこと」<ul style="list-style-type: none">・全国平均を上回っている。△ 「読むこと」<ul style="list-style-type: none">・全国平均を上回っている。	<ul style="list-style-type: none">●自分の考えが伝わる文章になるように、根拠を明確にして書くこと。●資料や機器を用いて、自分の考えが分かりやすく伝わるように表現を工夫すること。●文章の構成や展開について、根拠を明確にして考えること。	<ul style="list-style-type: none">○伝えたい事柄とその根拠とを適切に結び付けたり、事実や事柄を具体的に示したりして書く指導の充実。○自分の考えが聞き手に分かりやすく伝わっているかを確認し、効果的に資料や機器を活用する指導の充実。○あとの展開を予測しながら作品を読み、文章の構成や展開の効果について考える学習活動の充実。

【数学】

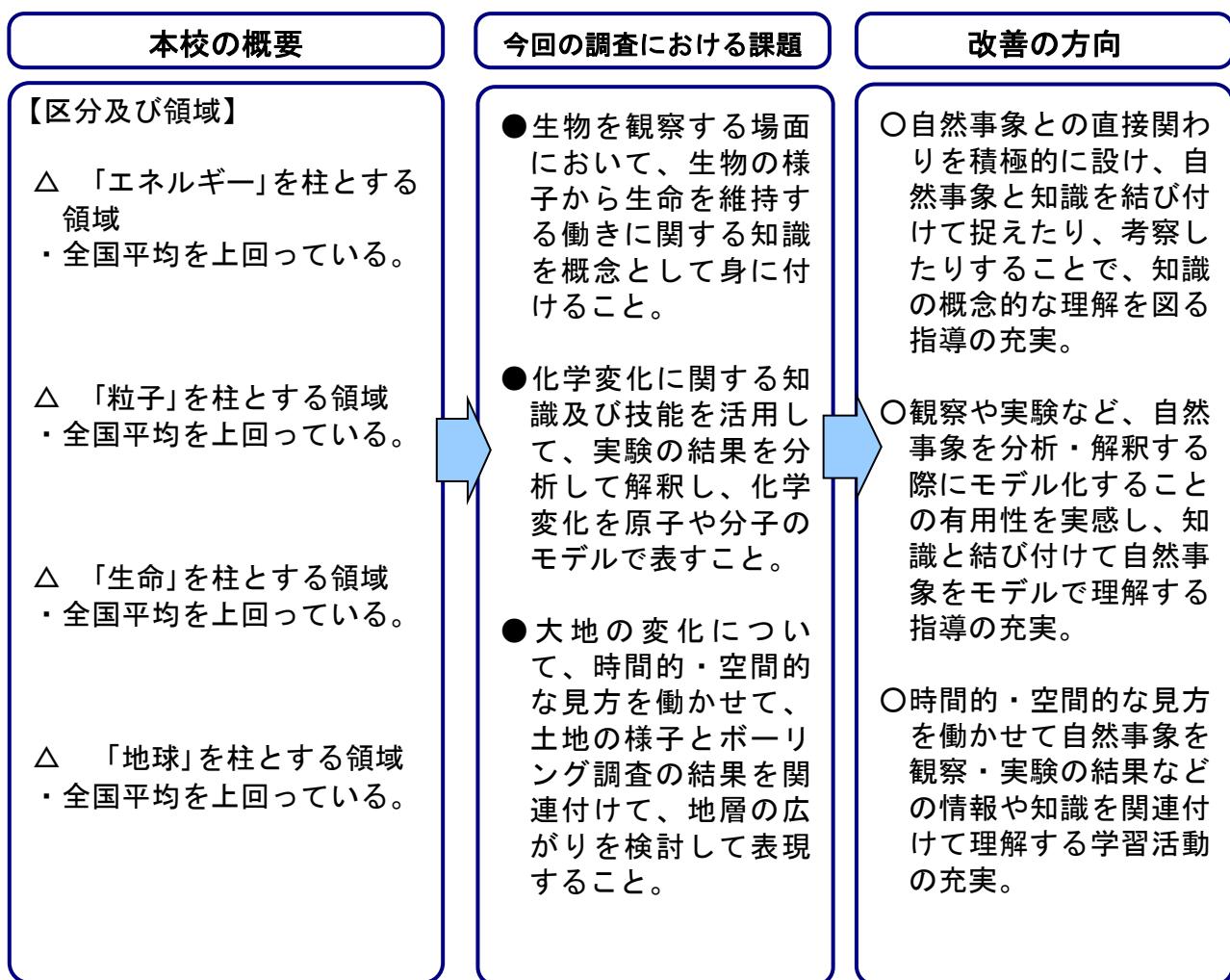
本校の概要	今回の調査における課題	改善の方向
<p>【区分及び領域】</p> <ul style="list-style-type: none">△ A「数と式」<ul style="list-style-type: none">・全国平均を上回っている。△ B「図形」<ul style="list-style-type: none">・全国平均を上回っている。△ C「関数」<ul style="list-style-type: none">・全国平均を上回っている。△ 「データの活用」<ul style="list-style-type: none">・全国平均を上回っている。	<ul style="list-style-type: none">●総合的発展的に考え、条件を変えた場合について、証明を評価・改善することができるようとする。●ある事柄が成り立つことを構想に基づいて証明することができるようとする。	<ul style="list-style-type: none">○証明について考察し、条件を変えても変わらない関係や、条件を変えると変わる関係を見いだし、評価・改善することを通して、証明する指導の充実。○結論を導くために必要な事柄を明らかにするなどして証明の方針を立て、推論の過程を数学的に表現する指導の充実。

<記号の意味> 全国平均正答率と比較して4段階で示しています。

△	全国平均に比べ上回っている	
◇	ほぼ同程度	やや上回っている やや下回っている
▽	全国平均に比べ下回っている	

…全国平均正答率

【理科】



<記号の意味> 全国平均正答率と比較して4段階で示しています。

△	全国平均に比べ上回っている	
◇	ほぼ同程度	やや上回っている
		やや下回っている
▽	全国平均に比べ下回っている	

…全国平均正答率

【生活習慣・学習習慣に関する調査】

今回の全国学力状況調査では、国語・数学・理科の学力調査の他、各教科に対しての意識や取組状況、生活習慣、学習環境に関する質問が行われました。

① 児童生徒に対する調査

ア 教科に関する調査〔国語、算数・数学、理科〕

出題内容はそれぞれ、(ア) 身に付けておかなければ後の学年等の学習内容に影響を及ぼす内容や、実生活において不可欠であり常に活用できるようになっていることが望ましい知識・技能等 (イ) 知識・技能を実生活の様々な場面に活用する力や、様々な課題解決のための構想を立て実践し評価・改善する力等

イ 質問調査 学習意欲、学習方法、学習環境、生活の諸側面等に関する質問調査

② 学校に対する質問調査

学校における指導方法に関する取組や学校における人的・物的な教育条件の整備の状況等に関する質問調査を実施。

今年度の結果は、以下の通りです。全国平均を上回る項目については、今後も伸ばしていくような取組を心がけ、下回っている項目については、要因となるものを分析して、その改善に向け、取り組んでいきたいと考えております。質問項目について、特に顕著な例を挙げます。

○肯定的な回答（「当てはまる」「どちらかといえば当てはまる」）が全国の結果を上回っている主な項目について

- ・自分には、よいところがあると思いますか。
- ・人が困っているときは、進んで助けていますか。
- ・あなたは自分がPC・タブレットなどのICT機器で文章を作成する（文字、コメントを書くなど）ことができると思いますか。
- ・あなたは自分がPC・タブレットなどのICT機器を使って学校のプレゼンテーション（発表のスライド）を作成することができると思いますか。
- ・授業や学校生活では、友達や周りの人の考えを大切にして、お互いに協力し合いながら課題の解決に取り組んでいますか。
- ・あなたの学級では、学級生活をよりよくするために学級活動で話し合い、互いの意見の良さを生かして解決方法を決めていますか。
- ・学級活動における学級での話し合いを生かして、今、自分が努力すべきことを決めて取り組んでいますか。

○肯定的な回答（「当てはまる」「どちらかといえば当てはまる」）が全国の結果を下回っている主な項目について

- ・分からぬことや詳しく知りたいことがあったときに、自分で学び方を考え、工夫することはできていますか。
- ・困りごとや不安がある時に、先生や学校にいる大人にいつでも相談できますか。
- ・授業で学んだことを、次の学習や実生活に結びつけて考えたり、生かしたりすることができると思いますか。

- ・1人1台端末が整備され、日常生活でChromebookを活用することが定着してきました。90%近くの生徒がPC・タブレットを学習活動に活用することができると回答しています。今後、端末を有效地に使うことで、学んだことを定着させること、深い学びにつながる学習方法、授業方法の改善が主な課題と捉えています。
- ・学級でよりよい生活について話し合い、それを守りお互いに高め合おうとする気持ちが強い傾向にあります。日常の取組や学活・道徳を通して自分や学級の生活を見直したり、よりよいものにしていく活動を継続していきます。
- ・学び方を考え工夫することや、授業で学んだことを生かすという面で全国より低い結果となりました。応用や活用などの指導方法を含め、環境整備や働きかけなど、具体的な取組を模索する必要があると受け止めています。

札幌市教育委員会では、『まほうのかいわ』を合い言葉に連携して取り組むことを目指しています。ご家庭でもぜひ、学校生活の様子などを話題にしていただきたいと思います。

さっぽろっ子「学び」のススメ

<https://www.city.sapporo.jp/kyoiku/sidou/documents/r6susume.pdf>